



SESERAGI-MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2010～2011年度 RI会長 レイ・クリンギンスミス

RIテーマ BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS 地域を育み、大陸をつなぐ

クラブテーマ「親睦をもっと深め、心の奉仕を行動で示そう」会長 西原克甫

副会長 渡邊照芳 幹事 内田憲一

第1006回 例会 2010.07.09 (金) 雨

司会:土屋 巧君 指揮:山本 章君

ロータリーソング「我等の生業」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 ブケ東海三島

TEL. 055-984-0120

毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ

会長 西原克甫君

こんにちは、まず地区のロータリー情報からお知らせいたします。

～クラブ長期計画 情報提供のお願い～

ロータリアンの皆様のご意見や、各クラブの活動内容を募集し、地区のホームページに掲載いたします。

「他のクラブの活動を知りたい」

「例会でどんな事をしているのか知りたい」

「会員増強に成功したクラブの活動が知りたい」

ロータリアン減少傾向にある状況を改善する為に、ロータリアンの活発な活動を出来るだけ多くの人に伝えていきましょう。そのためには、皆様の情報が必要不可欠です。皆様の投稿をお待ちしております。

[投稿内容]

特に内容に制限は設けておりません。クラブの活動、ロータリーに対する思い、問題提起だけでなく、投稿された内容に対するご意見等もお待ちしております。投稿の際には、以下の内容を参考に文章を構成してください。

[区分] 匿名でも構いません。

[クラブ名] 匿名でも構いません。

[投稿者氏名] 匿名やペンネームでも構いません。

[投稿タイトル]

[内容]

[その他のご意見など]

詳しいことは、地区ホームページをご覧ください。先日、新聞に気になる見出しが目に入りましたのでご案内いたします。

新入社員調査

「デートより残業」 過去最高の85%

日本生産性本部などが今春の新入社員を対象に「デートの約束があった時、残業を命じられたらどうするか」と聞いたところ85.3%が「デートをやめて仕事

をする」と回答したそうです。この質問を始めた1972年以降最高で、「残業は断りデートする」14.2%との開きも最大になった。調査の担当者は「企業の業績悪化やリストラなどネガティブな情報にさらされ、仕事に真摯(しんし)に向き合わざるを得ない新入社員たちの姿が浮かび上がった」としている。集計によると、「残業派」と「デート派」はバブル期の91年、それぞれ62%、37%と開きが25ポイント差で最小だったが、徐々に拡大。今年度は、男性の残業派が81.9%、女性は88.8%に上がった。「第一志望の会社に入れたか」と尋ねたところ、55.2%が「はい」と答えた。厳しかった就職戦線を反映し、昨年の62.3%から減少した。アンケートは、3～4月、生産性本部の研修に参加した企業の新入社員約2,700人を対象に実施したものだそうです。経営者の皆様は、どんな事を感じられますか? 又、貴方だったら「残業派」「デート派」。

ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

内田 聡さん(商工会議所青年部会長)

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	30/35	85.71%	33/35	94.29%
今回	30/34	88.24%	会員総数	36名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

石井(和)君、石井(司)君、片野君、鈴木(政)君

幹事報告

幹事 内田憲一君

1. 八月八日 富士山つながりの日 奉仕登山隊員再募集が来ています。

クラブ協議会

奉仕プロジェクト委員会

委員長 太田政人君

奉仕プロジェクト委員会の役割は、地元および海外の地域社会を支援する教育的・人道的プロジェクト、ならびに職業奉仕プロジェクトの立案と実施を援助することとされています。

今年度の事業としては、継続事業として小委員会の国際奉仕プロジェクト委員会にはタイ国への放置自転車贈呈事業、青少年育成委員会には20周年記念事業の「3年後の自分への手紙・夢をかたちに」の実施をお願いしております。

また、国際ロータリー第2620地区社会奉仕委員会が提唱しました富士山の世界文化遺産登録を支援する事業としての、八月八日「富士山つながりの日」と、地区の継続事業の地球温暖化を食い止めるための沙漠緑化募金に賛同協力いたします。

国際奉仕委員会

委員長 根津和延君

継続事業として続いているタイ放置自転車贈呈事業をバンコクスリウォンRCの協力で2010年11月22日に行う。今回は事業開始から8回目の贈呈事業で8年目となる。今年度は贈呈先がアムナートチャルーン県とルーイ県の2カ所となりアムナートチャルーン県は地元のアムナートチャルーンRC、ルーイ県はバンコクシーロムRCの協力で行う。贈呈式に参加するのはアムナートチャルーン県でルーイ県はバンコクスリウォンRCとバンコクシーロムRCが

11月15日に贈呈式を行いその様子を資料として頂くことになった。また、河口湖RCより自転車贈呈事業実施の希望があり、この希望を受け入れ、今年度の贈呈先が2カ所であることより合同で自転車贈呈事業を行う予定である。

また、アムナートチャルーンRCから姉妹クラブか友好クラブになって欲しいと言う要望があり、理事会で検討をお願いしたい。

青少年育成委員会

委員長 石井司人君

昨年より始めました「3年後の自分への手紙」の事業を本年も実施します。

1. マニュアルについては昨年作成したものを使用
2. 教育委員会（三島市・函南町）へのアプローチ
3. 実施にあたっての事務用品の仕分け等
4. 実施は7月までに各学校に協力要請
5. 昨年の実績から期限を本年一杯ぐらいをめざす

ロータリー奉仕委員会

委員長 小林 勝君

ロータリー財団委員会の最も重要な仕事に、ロータリー財団について会員の皆さまに理解してもらうことがあります。理解していただくことにより、財団が推進する各プログラムに参加することの意義を見出していただけるとと思います。

幸いロータリー財団としての卓話の時間をいただけるとのことですので、会員の皆さまがロータリー財団について理解と関心を持っていただき、積極的に財団活動を行えるよう努力していきたいと思っております。ご協力の程、よろしくお願い致します。

職業奉仕委員会

委員長 米山晴敏君

職業奉仕はロータリークラブの根幹をなすものですが、他の奉仕活動と違い、目に見えるような活動でなく難しい委員会ですが、やる気マンマンの杉山副委員長、やさしく真面目な新井委員、せせらぎのホープ私、服部委員の4人で頑張ります。

本年度は、職業奉仕の基本である道徳観啓蒙と四つのテストの職場での掲示と実行を会員の皆さんにお願いいたします。また、会員相互の朝礼等の見学会を実施し良いものを共有する活動をお願いいたします。また、出来る範囲での会員相互での職業協力体制の確立もお願いいたします。職業奉仕委員会の活動の中に『クラブは過去12ヶ月間に、高い倫理基準と公共の価値観を認め、その模範を示した人物・企業・団体を称え、表彰しましたか。』とありますが、これにつきましては会長、幹事、理事、役員が指示があればやる努力をいたします。

広報委員会

委員長 宮澤正昭君

本年度は、多くの広報活動を積極的に、当クラブ内外に発信していきたいと思っております。

ロータリー内広報、ロータリー外広報から掲げられた話題を提供するよう、協力していきたいと思っております。

ロータリー外広報委員会

委員長 片野誠一君

ロータリー外広報の目的は、クラブの活動を地域社会に広く知ってもらうための広報活動を行う委員会です。

そのため、年度内に実施されますさまざまなクラブの奉仕活動を報道機関の協力また紙面により、クラブの活動を地域社会に広報していきたいと思っております。幸い委員の中に報道機関に精通されている方がいますので、協力をいただきながら広報活動を進めていきたいと思っております。

ロータリー内広報委員会

委員長 山口辰哉君

2年続けて同じ職を任せられました。去年の目標と全く同じです。できなかったことができるように努力します。

ホームページによるロータリー内広報は、ある意味外に向かったの広報にもつながっています。現代人は、外で人に会ったとき名刺交換をしますが、そのときその本人から話を聞くのと同時に、事務所や自宅に戻ってその会社のホームページを確認します。いや確認する人が多くなっています。もしあなたが、自分はせせらぎ三島ロータリークラブのメンバーだということを人に伝えたならば、相手の方は、そこはどんなクラブかと調べたくなります。そのときにちゃんと更新され、常に新しい情報が載ったホームページでなくてはがっかりです。今は毎週週報を更新していますので、常に変化はしています。今後は、更新されていない同好会のページや放置自転車のページなどをいじっていかうと思います。同時にバナー広告を募集します。せせらぎ三島からメンバーの会社のホームページにいけるようにLINKのバナーを貼り付けます。1年間の広告費を決めて、そのお金はクラブに入れてもらいます。メンバー以外でLINKを、という方にはビジター料金で受けます。また、ホームページの見方の講習会を開きたいと考えています。

クラブ管理運営委員会

委員長 渡邊照芳君

クラブ管理委員会は、本年度会長の方針「親睦をもっと深め、心の奉仕を行動で示そう」をより強く効果的に運営するための活動を行う。

- ・ 週例プログラム、また特別プログラムを計画する。
 - ・ 例会は楽しい中でも、規律をもった例会をお願いしたい。
 - ・ 家族会を増やし、各会員・家族間の親睦も深める。
- クラブ管理委員会は、クラブの管理運営目標を達成するために、各委員会と協力して本年度の方針を進めていきたいと思っています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

会場監督委員会

委員長 土屋 巧君

本年度は会長・幹事、また、先輩会員とも話し合いスムーズで快適な例会運営に望みたいと考えております。年の途中でも良い意見があれば大いに取り入れ、柔軟な対応をして行きたいと思っています。皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

親睦委員会

委員長 石井邦夫君

2010-2011年度方針

会長の言葉どおり「親睦をもっと深める」

2010年

8月22日（日）夏の家族会

9月17日（金）親睦例会

10月17日（日）芋煮の家族会

12月17日（金）クリスマス家族会

2011年

1月6日（木）四クラブ合同新年会（三島西）

3月18日（金）親睦例会

5月15日（日）春の家族会・潮干狩り

6月24日（金）さよなら例会

親睦例会等イベント例会のあとにはなるべく二次会を実施したいと考えています。（会費：3000円位）また、新入会員を多く迎える努力をし、入会式後の激励会等で親睦を深めたいと思います。

出席委員会

委員長 加藤正幸君

クラブ管理委員会の下で、会長の方針に沿った活動をしていきます。出席率の向上、退会者が出ないように楽しい例会を応援していきます。会員皆さまのご協力をお願いします。

会計・組織検討委員会

委員長 矢岸貞夫君

会計

クラブ運営は会員の会費で賄われています。限られた予算ですので大切に使いますよう、皆様のご協力をお願いいたします。

組織規定検討委員会

クラブ細則に沿って事業展開をしていきますので、ご協力をお願いいたします。

幹事

内田憲一君

本年度、当クラブは地区での大きな担当行事はありませんので、なお一層のクラブの充実を図っていきけるよう、各委員長のお手伝い、会長の「親睦をもっと深める」のテーマに基づいて、活発なクラブ運営ができますように会のまとめ役としてやっていきたいと思っています。会員皆さまのご協力をお願いいたします。



スマイルボックス

遠藤正亀君:長い間欠席して申し訳ありませんでした。無事、女房も退院できました。ありがとうございました。

山口雅弘君:Cテーブルからのご案内です。7月30日に長泉山荘にてテーブル会があります。テーブルマスターの野中さんから「他のテーブルからも来ていいよ。」との事です。出席を希望される方はCテーブル石井邦夫さんまで。

山本良一君:1週間遅れの新年度スタートのスマイルです。本年度もよろしく。

大房正治君:西原年度がんばって下さい。お先に失礼致します。

兼子悦三君:第一例会は休みで申し訳ありません。今年の役員の皆様、一年間頑張ってください。

PHOTO GALLERY



日本ーコロッケを企画した三島商工会議所青年部内田聡会長に協賛金を渡す



ROTARY NEWS

～RI会長のメッセージ～

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん、
なんと驚くべき世界でしょう！ 技術の進歩はものすごい速さで進み、私たちの事業や専門職務に絶え間ない変化を起こしています。しかし、全世界に住む人々の約3分の1は、その暮らしにほとんど変化がないまま、最低水準の生活を続けています。これは極端な格差であり、心配の種の一つです。

卓越した伝統と明るい未来

ロータリーは、卓越した伝統と明るい未来をもち合わせています。私の国際ロータリー(RI)会長としての第一の仕事は、各ロータリークラブの活力と実現性の強化、そして、社会が変化している中で、クラブを成功に導くことです。これは非常に重要な仕事です。なぜならば、社会の根底に存在する問題に焦点を当て、その問題を軽減して、それによって世の中を良い場所にするのは各クラブだからです。

「Wind of change (変化の風)」という言葉は、私が1960年代初頭にロータリーの奨学生として南アフリカにいたころの、新しくて意義深い言い回しです。私のホストシティであるケープタウンで最初に広まったこの言葉を、私たちの組織の変化に関して影響を与える社会の変化を考えると、ロータリーに適用できるということは思いがけないことです。この慣用句は今、「Winds of change (変化の風)」として当時にも増して知られるようになりました。

最良の日はまだ先にある

私たちは今、国際ロータリーで改革の文化を享受しています。私たちは私たちの中核となる価値観をしっかり維持すれば、プログラムや奉仕活動全体を見て、それらをより良くできるかどうかを見極める能力もっています。私は多くのロータリアンたちがそれぞれのクラブや地区においても同様に、改善点を確認したり実施するために、この機会を活用されることを願っています。

私たちの33,000クラブでロータリーは息づいています。そして、「地域を育み、大陸をつなぐ(Building Communities - Bridging Continents)」ことによって、向上するのはクラブなのです。

もし次年度、私たちがより大きく、豊かで、大胆なクラブづくりに成功したら、ロータリーの最良の日は、まだ先にあることが明らかになるでしょう。私たちはロータリアンで幸せです。私たちは共に、世界をより良い場所にすることができるのです。